㊴ 網干西地区

網干商工会館

行った日

大正13年（1924）6月に網干商工会がつくられました。会館は昭和15年（1940）に建てられました。当時は約350の商工業者が会員となっていました。今は、網干同友会という名前で活動しています。

池田龍眠句碑（龍門寺境内）

行った日

網干出身で、「層雲」という俳句をよむ人のグループの一員だった池田龍眠がよんだ句が彫られた石碑です。龍眠は句集『日を浴びて』を発刊しました。この石碑は昭和9年（1934）に建てられたもので、「木の葉ふる　堂の扉を鎖しゐる 龍眠」と彫られています。

義徳院

行った日

盤珪禅師が生まれた場所で、境内には産湯をくんだ井戸があります。盤珪禅師は50回忌の元文5年（1740）に「大法正眼国師」という称号を特別に受けました。

京極家　網干陣屋

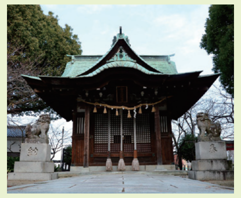
行った日

網干は寛永年間（1624～44）から京極家の領地でしたが、京極家が丸亀に移る時に揖保郡の内28の村がそのまま領地となりました。そこに代官や奉行などをおき、年貢を集めるなどの政治の仕事を行いました。今は陣屋門（再現したもの）だけが当時の様子を残しています。

金刀比羅神社

行った日

大己貴命などの神さまがまつられています。御神燈は天保14年（1843）につくられたものです。水盤に讃岐の地名や船の名前、船主の名前が彫られています。



調べたこと、分かったことを書いてみよう!

網干西地区は自然が豊かで、昔から漁業や工業が栄えてきました。この地区ではどんな漁業が行われてきたのかまたどんな工場があるのか調べてみましょう。

- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り 伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

西方寺

行った日

天文2年（1533）に慶雲が開いたお寺です。後に盤珪禅師の兄の寿伝上人が引き継ぎました。

大覚寺

行った日

天福元年（1233）、定翁隆禅上人が光接院として開きました。弘治2年（1556）に今の場所に移り、鶴立山大覚寺と名づけられました。絹本著色釈迦三尊像と十六羅漢像は国の重要文化財に指定されています。

不徹寺

行った日

元禄元年（1688）、田捨女が開きました。捨女は41歳の時に夫と死に別れて仏門に入り、51歳の時、盤珪禅師を頼って網干にやって来ました。俳人（俳句をよむ人）としても有名です。捨女の三周忌のころに現在の場所に移されました。尼僧坐禅堂があり、誰でも参加できる坐禅会が月に一度あります。

山本家住宅

行った日

大正3～7年（1914～18）にかけてつくられました。3階建てで、黒い壁の塔はひときわ高くそびえています。建物を外から見た様子は、和風に、上げ下げ窓やよろい戸など洋風の要素がミックスされています。市の都市景観重要建築物等に指定されています。

龍門寺

行った日

寛文元年（1661）に盤珪禅師が建て直したお寺です。当時、龍門寺派のお寺は全国に約200ヶ寺ありました。盤珪禅師の「不生禅」は大名にかぎらず庶民からも幅広く信仰されました。毎年4月の献茶会には直径約50cmの大きな茶碗でお茶がふるまわれます。